

彙 報

研究活動等 (2016年1月～2016年12月)

総合政策学科

澁谷彰久

1. 論文・報告書

- (1) 単著・編者 (2016年3月) 『人口減少社会と地域力の創造－山梨県立大学共同プロジェクト－』日本評論社 (総284頁) 担当執筆部分序章 [総論] 「山梨の人口予測と将来ビジョン－くらしやすさ世界一を目指して－」、第9章「土地所有と利用の将来ビジョン－やまなしトラストの提案－」
- (2) 単著 (2016年9月) 「地方都市の人口予測と将来ビジョン－山梨県立大学共同プロジェクトについて－」地域デザイン学会 (59～65頁)

2. 研究助成・その他

- (1) 単独 (2016年4月) 日本学術振興会科学研究費 基盤研究c (一般) 新規採択 (研究代表) テーマ: 「認知症患者の医療同意と財産権保護における本人自己決定のための法的枠組みの研究」
- (2) 共同 (2016年4月7日) 『地域デザイン』第7号 「[地域デザインフォーラムやまなし2015要旨] 南アルプス市を事例にして地域の未来を考える！－現地でのワークショップの成果報告」執筆
- (3) 単独 (2016年9月10日) 地域デザインフォーラムやまなし「地方都市の人口予測と将来ビジョン」地域デザイン学会報告
- (4) 単独 (2016年9月18日) 山梨日日新聞 時評: 「人口減社会 地域資源で対応を」執筆
- (5) 単独 (2016年9月20日) 平成28年度公立大学職員研修会地域連携に関する分科会講演 テーマ「地方創生を推進する公立大学～

山梨県立大学の取組み～」講師

- (6) (2016年10月4日) 甲府市市民後見人等に関する検討会 会長
- (7) 単独 (2016年10月21日) 群馬弁護士会主催 地域金融機関と群馬弁護士会との研究会 (第3回) 講演 テーマ: 「後見支援のための専用口座について」講師
- (8) 単独 (2016年11月7日) 甲府商科専門学校消費者啓発講座 テーマ「金融取引と消費者保護－預金口座と高齢者への見守り－」講師
- (9) 共同 (2016年11月) 公開講座「やまなし市民後見人養成講座 (第3期)」企画・コーディネート・講演・司会 (山梨県立大学平成28年度COC事業講座)

熊谷隆一

1. 講演 (単独)

- (1) まちだ自治研究センター総会・学習講演会「自治研活動へのいざない～市民とつながり、仕事を豊かにするために～」(まちだ自治研究センター、2016年3月18日)
- (2) こうふみらいサロン・事例報告「福岡県の出会い・結婚応援、福岡県宗像市の出会い・結婚応援、山梨県の出会い・結婚応援について」(甲府市・山梨県立大学地域戦略総合センター、2016年3月28日)

2. 報告書 (編著)

- (1) 「よつびし総研プレゼンツ 甲府! おもてなし BOOK No.3」(文部科学省「地(知)の拠点事業 (大学COC事業)」による地域貢献活動、四菱まちづくり総合研究室発行、2016年2月29日)
- (2) 「2015年度よつびし総研 活動報告書」(文部科学省「地(知)の拠点事業 (大学COC

事業)」による地域貢献活動、四菱まちづくり総合研究室発行、2016年3月31日)

3. その他

(1) 評論 (単著)

「人口減少時代のまちづくり - 徳島県神山町の『創造的過疎』を参考にして-」(『甲府法人会たより第131号』、甲府法人会発行、2016年8月22日)

(2) 識者談話 (単独)

「市町村議会政活費調査・上 執行率13議会で格差 昨年度96~18% 廃止・見直しも」(『朝日新聞』2016年10月27日付朝刊)

(3) 識者談話 (単独)

「県議旅費訴訟『研修名目の観光中止を』原告団 批判強める」(『山梨日日新聞』2016年11月30日付)

(4) 社会的活動 (アドバイザー)

「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事 (2007年4月14日~、継続)

(5) 社会的活動 (学会理事)

富士学会常務理事 (2015年4月1日~、継続)

(6) 社会的活動 (学会評議員)

自治体学会評議員 (地域選出) (2016年8月19日~、継続)

(7) 社会的活動 (研究員)

(社) 神奈川県地方自治研究センター特別研究員 (2005年4月~、継続)

安達義通

1. 論文

- (1) 単著 (2015年3月) 'An Examination of The Applicability of Nonaka's Theory in The Empirical Context of UK Urban Regeneration: A Case Study of The Creative Town Initiative in Huddersfield (2)-Placing the Creative Town Initiative in Huddersfield in context-' (『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第11号・研究論文)
- (2) 共編著『人口減少社会におけるコミュニティビジネスの役割』日本評論社、2016年3月)

- (1) 単著 (2015年3月) 'An Examination of The Applicability of Nonaka's Theory in The Empirical Context of UK Urban Regeneration: A Case Study of The Creative Town Initiative in Huddersfield (2)-Placing the Creative Town Initiative in Huddersfield in context-' (『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第11号・研究論文)
- (2) 共編著『人口減少社会におけるコミュニティビジネスの役割』日本評論社、2016年3月)

2. 社会的活動 (委員等)

- (1) 委員 (委員長) 平成26年度事務事業外部評価委員会(韮崎市企画財政課) (2016年10月)
- (2) 幹事委員 やまなしコミュニティビジネス推進協議会 (2016年1月~12月)
- (3) 企画運営委員 キャンパスネットやまなし(山梨県生涯学習文化課) (2016年4月~12月)
- (4) アドバイザー やまなし若者中心市街地活性化協働事業実行委員会 (2016年6月~10月)
- (5) 委員 甲府リノベーションまちづくり構想策定委員会 (2016年6月~)
- (6) 委員 山梨県景観審議会 (2016年3月)

3. 学会貢献

- (1) 副支部長 日本地域政策学会甲信越・北陸支部 (2016年4月~)
- (2) 評議員 日本地域政策学会 (2016年7月~)

4. その他

- (1) 「甲府らしさ」に関する聞き取り調査 (COC事業) (2016年4月~)
- (2) 甲府市中心市街地空き店舗等調査 (2016年6月~)

石山 宏

1. 著書

- (1) 『検定簿記講義/2級商業簿記<平成28年度版>』(共著) 中央経済社、2016年2月。
- (2) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記<平成28年度版>』(共著) 中央経済社、2016年2月。

2. 学術論文

- (1) 「サンダーと契約理論」『山梨国際研究』第11号, 39頁-46頁, 2016年3月。
- (2) 「簿記教育における反転授業の実践」『会計教育研究』第4号, 24頁-32頁, 2016年8月 [査読有り]。

3. その他報告書等

「瀧田輝己著『財務会計論』(税務経理協会)」(書評), 『財務会計研究』第十号, 95頁-101頁, 2016年6月。

4. 社会活動等

公益社団法人全国経理教育協会 簿記能力

検定試験 実施責任者(山梨県立大学飯田キャンパス会場) 2016年7月。

大西康雄

1. 論文

- (1) 単著「영화 '괴물' 의 일본 흥행 실패 사례로 본 한일 사회 의식구조 비교 연구」, 『日本文化論叢』 15: 1-40 (대한일본문화학회) 2016年2月(査読有)

2. 学会発表

- (1) 単独「植民地時代末期崔寅董 '친일' 映画メッセージの二重性: 崔寅奎監督の民族差別撤廃戦略に関する仮説提起の試み」, 대한일본문화학회 국제학술대회 2016, 2016年8月20日, 於東亜大学校富民キャンパス(大韓民国・釜山市)
- (2) 単独「マクルーハン『メディアの理解(メディア論)』論述構造の分析: メディアのホット/クール概念の社会的生産性の高い解釈に向けて」, 第89回日本社会学会大会, 2016年10月8日, 於九州大学伊都キャンパス(福岡市)

黒羽雅子

1. 論文

- (1) 単「米国銀行整理史における銀行株主の二重責任(Double Liability)の意義」『地方金融史研究』第47号、平成28年6月、pp.1-23.

2. 学会発表等

- (1) 単「1920-30年代米国ネブラス州における破綻州法銀行の再建財務諸表分析—小規模銀行はどのように残されたのか(株主責任と預金者負担)—」アメリカ経済史学会5月例会 2016年5月27日
- (2) 単「ネブラスカ州銀行調査委員会報告(1930-1935)分析—『最終報告』後の追加調査—」地方金融史研究会 2016年6月24日

3. 公開講座講師等学会活動

- (1) 「リージョナルバンクの経営戦略 全国地方銀行協会を創った銀行家: 鈴木良作(足利

銀行)」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター公開講座(企業家史研究会)『不連続社会と向き合った企業家の光と影—社会環境と戦略の適合性をめぐって—』2016年12月10日

- (2) 地方金融史研究会副幹事(2016年10月～)
4. 社会活動(2016年12月末日現在)

- (1) 山梨県総合評価委員(2016年4月～)
- (2) 山梨県固定資産税評価委員(2015年9月～)
- (3) 山梨県新税務システム選定委員(2016年9月～)

二宮浩輔

1. 論文等

- 『Good Strategic Environmental Assessment (SEA) Practices in Developing Nations: Based on Japan's Support Experiences in Eastern and Southern Africa』、「山梨国際研究」第11号、2016年3月、pp.22-38
- 『持続可能なエネルギーと地域経済—山梨における自然資源活用の可能性—』、「人口減少社会と地域力の創造」澁谷彰久・波木井昇・安達義通編著、日本評論社、2016年3月、pp.68-82
- 『JICA 環境社会配慮ガイドラインの成果と課題』、「経済政策ジャーナル」、2016年12月、pp.36-39
- 『セミナー「環境社会配慮とアセスメント」開催趣旨』、「環境アセスメント学会誌」Vol.14 No.2、2016年8月、p.2

2. 学会報告・講演等

- 報告『環境社会配慮の意義と役割』環境アセスメント学会平成27年度サロン会、2016年1月21日、於明治大学
- 講演『途上国開発における環境社会配慮』日本技術士会環境部会、2016年2月23日、於公益社団法人日本技術士会
- 報告『JICA's New Guidelines: Practical Matters and Problems』IAIA16 (16th Annual Conference, International Association of Impact Assessment)、2016年5月12日、於名古屋

国際会議場

- コーディネーター『環境社会配慮とアセスメント』2016年度環境アセスメント学会第14回公開セミナー、2016年5月14日、於名古屋学院大学

3. その他

- 国際協力機構 (JICA) 環境社会配慮助言委員会委員
- 環境アセスメント学会理事・環境社会配慮研究部会長
- 環境アセスメント学会第16回大会実行委員長
ほか

波木井 昇

1. 論文

(1) 単著

「グローバル市場における山梨の取組み」(山梨県立大学学長プロジェクト研究成果書籍「人口減少社会と地域力の創造」第1章、2016年3月、日本評論社)

(2) 編者

「人口減少社会と地域力の創造」2016年3月、日本評論社

2. 報告

(1) 「タイ・ベトナムの経済産業動向について」公益財団法人山梨総合研究所「アジアフォーラム21」研究会 (2016年10月)

(2) 「タイ・ベトナム経済の最近の状況について」新産業創出研究会 (2016年11月)

3. 講演

(1) 「製造業を中心とする山梨の産業の現状」甲府一高 (スーパーグローバルハイスクールプログラム) (2016年6月)

(2) 「地域経済の発展に向けて～多様な資源を活かす知恵とアジアなど海外とのつながり～」甲府城西高校 (総合的な学習の時間) (2016年9月)

4. 社会的活動

- (1) 甲府財務事務所「第6回経済財政に関する山梨コンファレンス」全体討論コーディネーター (2016年5月)
- (2) 公益財団法人山梨総合研究所特別研究員

(「アジアフォーラム21」研究会 企画運営、年6回開催)

- (3) 公益財団法人山梨総合研究所理事
- (4) 地方独立行政法人山梨県立病院機構評価委員
- (5) 公益財団法人山梨県国際交流協会評議員
- (6) 甲斐市総合計画審議会委員 (会長)
- (7) 山梨県民信用組合経営諮問会議委員 (座長)
- (8) 山梨県地域産業活性化協議会運営委員会委員
- (9) 山梨大学地域イノベーション戦略支援プログラム評価部会委員

箕浦一哉

1. 論文

(1) 単著 (2016年8月) “Principles and methods for the conservation of indigenous cultural soundscapes”, Proceedings of inter-noise 2016, 2031-2035.

2. 学会発表

(1) 共同発表 (2016年12月) 「震災被災地のサウンドスケープ調査から何が得られるか」日本サウンドスケープ協会2016年度秋季研究発表会, 熊本大学 (熊本市).

3. その他

(1) 講義およびフィールドワーク指導 (2016年9月～11月) 「RESASとフィールドワークを通じて学ぶ地域社会研究」, 対象者: 山梨県立市川高等学校英語科1年生, コーディネーター: 山梨総合研究所.

(2) ワークショップコーディネーター (2016年12月) 「歴史のたたずまいに耳を澄ますー市川大門“音の絵はがき”づくり」, 主催: そろんそろんフットパス・日本サウンドスケープ協会ワーキンググループ「まち・音・ひと・ねっと」, 市川大門地区 (市川三郷町).

森田玉雪

1. 論文/書籍

(1) 森田玉雪, 山本公香 (2016) 「OECDにおける公立中学校教員の職業満足度—法定給与水準を考慮した分析—」『山梨国際研究』

第11巻, pp.107-119.

- (2) 森田玉雪 (2016) 「包絡分析法 (DEA) による教育政策の効果分析」「因子分析による教育政策の効果分析」『教育政策研究ハンドブック』第2章, 第3章, pp.109-117. 政策研究大学院大学教育政策プログラム.

2. 外部資金研究

科学研究費補助金 (基盤研究 B), 研究代表者. 課題番号 26285057 「エコプロダクツの貿易自由化が生み出す効率性と多様な軋轢の経済分析」2014 ~ 2017 年度.

3. 学会活動

- (1) 報告「自動運転車実用化に係る論点と調査企画」, 「人工知能等が経済に与える影響研究」研究会, 経済産業研究所. 2016年7月11日.
- (2) 討論者, 日本応用経済学会 2016 年度秋季大会 (報告論文: 坂上智哉氏, 井上寛規氏, 宇野木広樹氏, 加藤康彦氏「ネットワーク形成と経済成長」) 慶應義塾大学. 2016年11月27日.

4. その他

- (1) 政策研究大学院大学 政策研究科 非常勤講師 (政策論文演習) / 客員研究員
- (2) 独立行政法人経済産業研究所「人工知能等が経済に与える影響研究」研究会メンバー
- (3) 山梨地方最低賃金審議会委員
- (4) 杉並区学校運営協議会委員 (~2016年9月)
- (5) 論文査読 *Energy Policy* (Elsevier) (5 篇), *Advances in Japanese Business and Economics Series* (Springer) (モノグラフ 1 冊), *Fisheries Science* (Springer) (1 篇), *International Journal of Hospitality Management* (Elsevier) (2 篇)

佐藤正幸

1. 研究発表

1.1 論文

- ① 「西ヨーロッパと東アジアにおけるヒストリオグラフィーのアーキタイプ研究」『山梨国際研究』No.11 pp.82-98. 単著・査読有.
- ② 「西洋史学はディシプリンカー母国語による

近代化の上に成立した世界的にユニークな学問」『西洋史学』No.260. pp.42-55. 単著・査読有.

1.2 学会発表

- ① “Changing World Images in History Education,” The 3rd IRAHSSE Conference on Time and Space in History and Social Sciences Education (Minho University, Portugal) 18pp. 招待講演・単独発表・査読有, 7 September.
- ② “Core Concepts of Japanese Historical Thinking,” The International Workshop of Core Historical Thinking. (北京大学人文社会科学研究院), 42pp. 招待講演・単独発表・査読有, 28 October.
- ③ “William Camden and Sima Guang: A Study of Differences in Historiographical Representations,” The International Colloque of Book History: Books and Reading in the Seventeenth Century, (山梨県立大学), 29 October.

1.3 学会役員

- ① Honorary Members of the International Commission for the History and Theory of Historiography.
- ② Editorial board member of the Berghahn series *Making Sense of History*.
- ③ Advisor of the Chinese Academy of Social Sciences Project *Contemporary International Historiography*.
- ④ 国際学術雑誌 *Historein* 査読委員。

2. 社会的活動等

- ① 国際ロータリー財団機関誌『ロータリーの友』編集委員 (2015年7月 - 2016年6月)。
- ② 甲府ロータリークラブ国際奉仕委員 (2015年7月 - 2016年6月)。
- ③ 野口賞選考委員会委員 (2016年4月 - 2017年3月)。

3. 競争的研究資金

- ① 平成 28 年度科学研究費: 挑戦的萌芽研究「キリスト紀年の世界共通紀年化に関する思想的な研究」(平成 27 - 29 年度、研究代表者: 佐藤正幸)。

国際コミュニケーション学科

張 兵

1. 著作
『訪日中国人から見た中国と日本—インバウンドのあり方—』(単著)日本僑報社 2016年9月
2. 報告書、講演など
 - (1) 「双方向型の高大連携による地域資源を活かした授業モデルの構築2」(共著)山梨県立大学地域研究交流センター 2015年度研究報告書 2016年3月
 - (2) 「中国人から見た日本人と日本文化」(単著)山梨県立大学国際政策学部シンポジウム 2016年1月19日
 - (3) 「日中米関係について」(単著)ラジオ FM FUJI 2016年5月26日
 - (4) 第1回王漁洋文学芸術賞文学研究類特別貢献賞受賞(受賞論文:「日本における王漁洋研究の現状と展望」) 2016年8月中国桓台
3. 社会貢献
 - (1) NPO 法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会理事(第8期:2016~2017年度)
 - (2) NPO 法人山梨県中国語・国際交流会副理事長(2016年5月~2018年4月)
 - (3) 山梨県富士山五合目インフォメーションセンター外国人案内人(2016年7月~9月)
 - (4) 第40回山梨県教職員文化展書道部門出品(2016年1月19日~24日山梨県立美術館)
 - (5) 甲府市産業振興検討委員会委員(2015~2017年)

伊藤ゆかり

1. 論文
 - (1) 単著(2016年3月)「アメリカ演劇が描く戦争の脅威—『マリソル』における戦いをめぐる空間と身体性」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第11号、pp.12-21
2. 書評
 - (1) 単著(2016年3月)「『オーガスト・ウィルソン—アメリカの黒人シェイクスピア』 桑

原文子著」、日本アメリカ文学会編『アメリカ文学研究』第52号、pp.119-24

3. 報告

- (1) 単著(2016年3月)「小学校英語教育に関わる活動を通じて得られたこと」、山梨県立大学地域研究交流センター 2015年度報告書『山梨県の小学校における「外国語活動」の効果的運営に関する実践的研究Ⅱ』、pp.33-34

4. その他

- (1) 教員免許更新講習選択講座「外国語活動」講師(2016年8月5日、於 山梨県立大学)

大村 梓

1. 著書

- (1) 単著(2016年5月)、大村梓「1920 - 1930年代のモダニズム文学と村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス』(1988)における消費社会像」、『第5回村上春樹国際シンポジウム予稿集』、174 - 180
- (2) 単著(2016年3月)、『Describing Reality: Murano Shirô and Modern Japan』, *Keio Communication Review*, 38, 65-83
- (3) 単著(2016年3月)、「翻訳家堀口大学を巡る一考察—ポール・モーランという言説」、『山梨国際研究』、11、1-11

2. 学会発表

- (1) 単独(2016年7月)、『Tawara Machi's Modern Japanese Translation of *Midaregami* and its Readers' Reception』, The 2nd East Asian Translation Studies Conference, Meiji University, Tokyo, Japan
- (2) 単独(2016年5月)、「1920 - 1930年代のモダニズム文学と村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス』(1988)における消費社会像」、2016年度村上春樹国際学術検討会、淡江大学村上春樹研究センター、台湾

3. 講演会等

- 単独(2016年10月)、「生きること、死ぬこと、そして文学にできること」、県民コミュニティ・カレッジ、山梨県立大学、日本

高野美千代

1. 研究論文等

- (1) [単著] “An Unusual Moment in Book History : Text and Image in the Works of Francis Sandford” 英米文化学会『英米文化』第46号, 9-22, 2016年3月(査読有)
- (2) [単著] 「王政復古期における非国教徒文学と社会～ロバート・ワイルドと出版についての一考察～」山梨県立大学国際政策学部『山梨国際研究』第11号, 55-63, 2016年3月

2. 研究発表・報告書等

- (1)[単独] “The Hazards of Publishing: Maximizing Trust and Minimizing Risk in the Book Trade in late 17th Century England and Japan” Trust and Risk in Literature Network, Meeting 2, at Yamanashi Prefectural University (funded by Danish Council) , September 6, 2016.
- (2) [編著] 「山梨県の小学校における『外国語活動』の効果的運営に関する実践的研究Ⅱ」山梨県立大学地域研究交流センター地域研究プロジェクト報告書、2016年3月
- (3) [単独] “Publishers’ Adverts and Early Modern Book Publishing” 科研費成果発表事業「17世紀の書物と読書」国際研究集会 於 甲府市藤村記念館、2016年10月29日

3. 地域貢献・各種講演会企画運営等

- (1) 教員免許更新講習選択科目小学校「外国語活動」および中高「英語」運営担当 (2016年7月～8月、於 山梨県立大学)
- (2) 地域研究プロジェクトによる小学校英語指導者育成セミナー企画運営 講師：聖学院大学 ブライアン・バード氏、藤原真知子氏 (1月および8月、於 山梨県立大学)
- (3) 国際研究学会 (デンマークオーフス大学 ジョー・スタレット氏が主宰する Trust and Risk in Literature Network, 第2回国際会議) 招致、コーディネート担当
- (4) 国際政策学部英語特別講演会企画運営 講師：日本銀行甲府支店 竹内淳支店長 10月5日 於 山梨県立大学
- (5) 国際政策学部・大学地域交流研究センター

共催講演会 企画運営 講師：英国ヨーク大学名誉教授 グレアム・パリー博士 10月27日 於 山梨県立大学

4. 外部資金による研究活動

- (1) 科研費基盤研究C(研究代表者)による国際研究集会「17世紀の書物と読書～書物受容の歴史から見る近世英国書物文化～」開催 (講師：英国ヨーク大学名誉教授グレアム・パリー氏、山梨大学名誉教授佐藤正幸氏) 於 甲府市藤村記念館、2016年10月29日
- (2) 科研費挑戦的萌芽研究新規採択(研究代表者、2016年度～2018年度予定) 課題名：王政復古期プリントカルチャーが反映する非国教徒の声 海外研究協力者：ジョージ・サウスコム博士(英国オックスフォード大学歴史学部)

名和敏光

【研修】

1. 山梨県立大学教員特別研修派遣研修員、2016年4月～2017年3月。
2. 京都大学大学院文学研究科中国哲学史研究室 公立大学研修員、2016年4月～2017年3月。
3. 北京大學歴史學系に高級訪問學者として招聘 (北京大學人文基金39,167元(約70万円)支給)、平成28年4月28日～6月5日。
4. 復旦大學出土文獻與古文字研究センターに高級訪問學者として招聘(中華人民共和國教育部、財政部高等學校創新能力提升計劃(2011計劃)中央專項資金6萬元(約100万円)支給)平成28年9月1日～10月30日。

【論文】

1. 「北京大學漢簡〈堪輿〉と馬王堆帛書『陰陽五行』甲篇〈堪輿〉の對比研究」『國際シンポジウム「非發掘簡の資料價値の確立」論文集』、日本女子大學、2016年3月、單著、1～18頁、査読無。
2. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《道》《雜占之四》綴合校釋(修訂版)」『出土文獻』第8輯、清華大學、中西書局、2016年4月、單著、146～158頁、査読有。
3. 「關於《陰陽五行甲篇》所見的“病”」『出土

醫學文獻研究國際研討會論文集』、上海中醫藥大學、2016年5月、單著、73～80頁、査讀有。

4. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《諸神吉凶》前半章綴合校釋」『第四屆世界漢字學會論文集』Vol.2、韓國釜山慶星大學、2016年6月、單著、13～24頁、査讀有。
5. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇整體結構的復原（修訂版）」『出土文獻研究』第15輯、中國文化遺產研究院、中西書局、2016年7月、共著、228～258頁、査讀有。
6. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《諸神吉凶》前半章綴合校釋（修訂版）」『漢字研究』第15輯、2016年8月、單著、33～55頁、査讀有。
7. 「《抱朴子》詞彙試釋一則」『出土文獻與諸子學學術研討會論文集』、2016年12月、159～168頁、査讀有。
8. 「“諾皋”考」『古文字與出土文獻語言研究國際學術研討會論文集』、2016年12月、單著、423～426頁、査讀有。
9. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《諸神吉凶》綴合校釋」『紀念馬王堆漢墓發掘四十周年國際研討會論文集』、湖南省博物館、2016年12月、1～5頁、査讀有。

【學會報告・招待講演】

1. 「北京大學漢簡《堪輿》と馬王堆帛書『陰陽五行』甲篇《堪輿》の對比研究」、國際シンポジウム「非發掘簡の資料價値の確立」（於日本女子大學）、2016年3月11日、單獨。
2. 「關於《陰陽五行甲篇》所見的“病”」、出土醫學文獻研究國際會議（於上海中醫藥大學）2016年5月18日、單獨。
3. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《諸神吉凶》前半章綴合校釋」、第四屆世界漢字學會（於韓國釜山慶星大學）、2016年6月26日、單獨。
4. 「《抱朴子》詞彙試釋一則」出土文獻與諸子學學術研討會（於開封河南師範大學）、2016年11月5日、單獨。
5. 「“諾皋”考」、古文字與出土文獻語言研究國際學術研討會（於廣州華南師範大學）、2016年12月18日、單獨。

【獲得資金】

1. 研究代表者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究（C）、研究課題番號：16K02157、研究協力者：武田時昌（京都大學教授）、總額：4,810千円）、「中國古代的陰陽五行一占と科學の成立一」、2016年4月～2019年3月。（新規）<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16K02157/> 參照。
2. 研究代表者、公益財團法人高橋產業經濟研究財團助成金、（總額：1,000千円）、「『天地瑞祥志』を中心とした前近代東アジア思想・文化の總合的研究」、2016年4月～2017年3月。（新規）<http://takahashi-f.or.jp/aid/pdf/list2016.pdf> 參照。
3. 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究（B）、研究課題番號：26284010、研究代表者：谷中信一（日本女子大學教授）、總額：11,624千円）、「MultiDisciplinaryApproachによる戰國秦漢期新出土資料研究」、2014年4月～2018年3月。（繼續）<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/26284010.ja.html> 參照。
4. 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究（B）、研究課題番號：15H03157、總額：14,890千円、水上雅晴（中央大學教授））、「年號勘文資料の研究基盤の構築」、2015年4月～2019年3月。（繼續）<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/15H03157.ja.html> 參照。
5. 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究（B）、研究課題番號：16H03466總額：15,600千円、水口幹記（藤女子大學准教授））、「前近代東アジアにおける術數文化の形成と傳播・展開に關する學際的研究」2016年4月～2019年3月。（新規）<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16H03466/> 參照。
6. 研究分擔者、國立歷史民俗博物館平成27年度共同研究（研究代表者：水上雅晴（中央大學教授））、「廣橋家舊藏文書を中心とする年號勘文資料の整理と研究」、2015年4月～2018年3月。（繼續）https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/research/list/joint/2015/hirohashi.html 參照。

【国際学会参加等】

1. 国際シンポジウム「非発掘簡の資料価値の確立」、2016年3月11日、於日本女子大学、科研費。
2. 出土医学文献研究国際会議研討會、2016年5月17日～18日、於上海中醫藥大學。
3. 世界漢字學會第四屆年會、2016年6月25日～27日、於韓國釜山慶星大學韓國漢字研究所、科研費。
4. 出土文献與諸子學學術研討會暨第三屆諸子學論壇、2016年11月5日～6日、於河南大學歷史文化學院、科研費。
5. 古文字與出土文献語言研究國際學術研討會、2016年12月16日～20日、於廣州市華南師範大學文學院、助成金。

【學會役員・その他】

1. 中國出土資料學會副會長、2016年4月～現在。
2. 日本道教學會評議員、2014年1月～現在。
3. 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代文獻の成立に關する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 参照。
4. 京都大學人文科學研究所共同研究班 C「東アジアの宗教文化と自然學」研究員、研究代表者：武田時昌教授、2015年4月～2017年3月。
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 参照。
5. 京都大學人文科學研究所共同研究班 A「東アジア傳統醫療文化の多角的研究」研究員、班長：大形徹(大阪府立大學教授、日本道教學會會長)、2014年4月～2017年3月。
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 参照。
6. 清華大學歷史學部(大學院)にて特別講義、2016年5月20日。
7. 北京大學歷史學部(大學院)にて特別講義、2015年5月23日。

萩原孝恵

1. 論文

- (1) 萩原孝恵(2016)「日本の組織文化への異文化受容—タイ人社員のインタビューから見えてくるもの—」『山梨県立大学 国際政策学

部 紀要』第11号、64-72.

- (2) 萩原孝恵、池谷清美(2016)「集中的に舌打ちを發したタイ人日本語学習者の發話に関する一考察」『日本語プロフィシエンシー研究』第4号、5-20、凡人社.
 - (3) 西部由佳、岩佐詩子、金庭久美子、萩原孝恵、水上由美、奥村圭子(2016)「OPIにおける話題轉換の方法—上級話者と中級話者に対するテストの関わり方に着目して—」『日本語プロフィシエンシー研究』第4号、132-143、凡人社.
2. 研究発表
- (1) 萩原孝恵、池谷清美(2016)「タイ人日本語学習者の發話に現れる『笑い』の分析—日本語 OPI データの生起環境より—」(JSPS 科研費 JP16K02633) 口頭発表、Bali International Conference of Japanese Language Education 2016、2016年9月10日.
 - (2) 池谷清美、萩原孝恵、稲積宏誠(2016)「OPI データの文字化作業における2次チェックの問題点について」(青山学院大学総合研究所) ポスター発表、Bali International Conference of Japanese Language Education 2016、2016年9月10日.
 - (3) 西部由佳、水上由美、萩原孝恵、奥村圭子、岩佐詩子、金庭久美子(2016)「日本語インタビューテストにみられる話題轉換部のやりとり—上級話者・中級話者の特徴に着目して—」(日本語 OPI 研究会) 口頭発表、2016年度第7回日本語教育学会研究集会〈東北地区〉、2016年11月26日.
3. 研究活動
- (1) 客員研究員「タイ人日本語学習者の学びを支援する—書く能力・話す能力向上に向けた ICT 活用と日本語教育のコラボレーション—」青山学院大学総合研究所プロジェクト.
 - (2) 共同研究「よりよいコミュニケーションのための相槌や受け答え」日本語 OPI 研究会 研究班.
 - (3) 研究代表 平成28年度山梨県立大学地域研究交流センター・プロジェクト「日本語を母

語としない子どもたちの未来を考えるプロジェクト—多言語による進路進学ガイダンス開催の意義— i) 2016年7月3日 外国人保護者とその子どもたちのための進路進学ガイダンス開催 (後援: 山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、南アルプス市教育委員会)、 ii) 2016年10月30日 外国人保護者とその子どもたちのための高校進学ガイダンス開催 (後援: 山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、南アルプス市教育委員会、笛吹市教育委員会、中央市教育委員会)、 iii) 2016年12月4日 子どもの日本語教育研究会第1回研究会「外国人保護者とその子どもたちのための進路進学ガイダンス—山梨県における取り組み—」ポスター発表、京都教育大学。

4. 講演

- (1) 山梨県教育庁義務教育課 平成28年度第2回帰国・外国人児童生徒教育研究会講師、講演タイトル「帰国・外国人児童生徒の言語能力と生活実態の把握について—DLAのワークショップを通して学ぶ—」2016年8月25日、山梨県総合教育センター。

5. 社会貢献

山梨県大規模小売店舗立地審議会委員、甲府市多文化共生推進計画策定委員会委員、やまなし多文化共生推進協議会委員、外国人留学生弁論大会審査委員

平野和彦

1. 学術論文

- (1) 単著「短編集『紙の子どもたちはみな踊るの装釘』—北脇昇の『空港』と両義性—」『村上春樹研究叢書03 村上春樹における両義性』2016年6月 - 淡江大学出版中心・p.257-p.282 (査読あり)
- (2) 単著「TVピープルが見た時代—『par AVION』から21世紀の秩序へ—」台湾淡江大学村上春樹研究センター主催「2016年第5回村上春樹国際シンポジウム」予稿集・2016.5.28・p.89-p.96 (査読あり)

2. 口頭発表

- (1) 単独「TVピープルが見た時代—『par AVION』から21世紀の秩序へ—」(台湾淡江大学村上春樹研究センター主催「2016年第5回村上春樹国際シンポジウム」於台湾淡江大学驚声国際会議場・2016年5月28日)
- (2) 単独「康有為手書墨跡を読む—詩稿の背景をめぐって—」(財団法人無窮会平成28年度東洋文化談話会発表大会・平成28年11月6日・於玉川大学大学教育棟518番教室)

3. Exhibition

- (1) 作品NO.55「破屋」—第14回日中韓文化交流展出品(絵画部門)・2016年12月17—21日・於在中上海韓国文化院槽溪北路396号匯智大厦裙楼3F展示庁

前澤哲爾

1. 社会貢献などの活動

- (1) 大学広報誌「Souffle」編集部 第6号の企画・取材、編集を行い、3月14日納品。
2. 理事、委員などの活動
 - (1) 山梨県立大学「キャリアサポートセンター」センター長(～16年3月)
 - (2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02年10月～)
 - (3) 「現代美術センター CCA 北九州」評議員(05年4月～)
 - (4) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」理事長(10年5月～)
 - (5) 台東区「東京ダウタウン・アートサポート懇談会」副座長(07年4月～)
 - (6) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会委員(08年1月～)
 - (7) 山梨県立大学同窓会豊桜会会報委員会顧問(12年6月～)

3. 講演・パネラーなどの活動

- 1月29日神奈川県・厚木合同庁舎「フィルムコミッションと地域活性化」講演
- 4月23日東京・小松川高校 スタディ99「前澤哲爾のすべて」講演
- 5月29日東京・韓国YMCA会館「一新塾卒

塾式・活動報告」コメンテーター
9月8日東京・一新塾「地域プロデューサー
養成講座」講演